



2023年 12 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ デ ィ ネ ッ ト  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 久 布 白 兼 直  
(コード番号 2370 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 落 合 雅 三  
(電話:03-6631-1201)

## 国立大学法人 東京医科歯科大学と造血細胞移植後の治療抵抗性ウイルス感染症に 対する新規免疫療法に関する共同研究契約を締結

株式会社メディネット(以下「当社」)は、国立大学法人 東京医科歯科大学(以下「東京医科歯科大学」)との間で、「造血細胞移植後の治療抵抗性ウイルス感染症に対する第三者由来複数ウイルス特異的T細胞療法の開発と研究」に関する共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野 森尾 友宏 教授は、現在問題となっております造血細胞移植<sup>i</sup>後に発生する治療抵抗性のウイルス感染症に対する新しい治療法として、第三者由来複数ウイルス特異的T細胞療法<sup>ii</sup>の実用化を目指した研究を推進されています<sup>iii</sup>。

今般、当社は、本共同研究において、東京医科歯科大学 森尾 友宏 教授、神谷 尚宏 特任助教、井上 久美 特任助教らと、東京医科歯科大学で実施中の第三者由来の複数ウイルスに対する抗原特異的T細胞を用いた造血細胞移植後の治療抵抗性ウイルス感染症に対する細胞療法に係る臨床試験の支援や共同研究活動を通じ、上記細胞治療の実用化を目指してまいります。

なお、本件による 2024 年9月期業績に与える影響は軽微であります。

以上

<sup>i</sup>造血細胞移植: 通常の化学療法や免疫抑制療法だけでは治すことが難しい血液がんや免疫不全症などに対して、完治させることを目的として行われる治療であり、ドナーから事前に採取した造血細胞が点滴で投与され、その移植された造血細胞が患者さんの骨髄に根付き(生着する)、正常な造血機能が回復することが期待されています。

<sup>ii</sup>第三者由来複数ウイルス特異的T細胞療法: 患者(レシピエント)、ドナー以外の第三者の末梢血を原料として用い、複数のウイルス抗原に対して特異的に反応するT細胞を体外で培養・製造し、それらを患者に対して投与する治療法です。

<sup>iii</sup>本研究は日本医療研究開発機構(以下「AMED」)による令和4年度「再生医療実用化研究事業」の「再生医療等安全性確保法に従い実施する再生医療・細胞治療の臨床研究」に採択され、AMEDからの助成を得て実施されています。